

蒲田保育専門学校

実地視察機関の概要

○指定を受けている学科等の概要

機関名	蒲田保育専門学校		設置者名	学校法人 簡野育英会			
学科等の名称等		認定を受けている免許状の種類・指定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成24年度)			
学科等	入学定員	免許状の種類	指定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
					実数	個別	
幼稚園教諭・保育士 養成科	80人	幼二種免	昭和48年度	69人	69人	69人	23人
入学定員合計	80人	合計		69人	69人	69人	23人
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「学科等の名称等」欄は、平成25年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。 						

指定教員養成機関に対する講評

実地視察日：平成25年12月6日（金）

実地視察大学：蒲田保育専門学校

実地視察委員：酒井朗委員，本図愛実委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等については、おおむね問題無く実施されている。
- 教育課程について、「2.」で指摘するように、教育職員免許法施行規則等の観点から是正すべき点を確認されたため、その点については、速やかに是正すること。
- 教員配置及び科目の在り方等について、指導大学であるお茶の水女子大学の指導のもと、教員養成の水準の維持・向上に努めること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 指定教員養成機関として教員養成に対する理念・構想は示されており、それを具現化するための教職課程に関する組織、教職課程及び教員組織が整備されていることが確認された。引き続き充実に努めること。
- 授業内容及び授業方法等に関するファカルティ・ディベロップメントの取組やそれに関する組織体制が十分とは言い難いため、今後充実させることを期待する。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目），履修方法及びシラバスの状況

- 指定教員養成機関における教育課程は、教員免許状という資格を授与するための課程であり、その内容については、法令等の規定に基づき一定程度の標準性が求められるものである。指導大学の適切な助言・指導のもと、教育職員免許法施行規則に定める「含むことが必要な事項」を含んでいるか、また、科目の趣旨に即した授業内容となっているかどうかを点検すること。なお、シラバスの記載内容及び記載方針を定め、法令に定める「含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認できるようにすること。
- 授業が保育技術といった技術的内容にとどまっているように見受けられた。教育・保育の本質・理念等について学生自身が考え、問題を解決する力を身につけさせるための授業内容及びカリキュラムについて今後御検討いただきたい。理論と実践の架橋をカリキュラムや指導方法に反映させることが課題である。

3. 教育実習の取組状況

- 教育実習については、教育実習指導として附属幼稚園実習を行った後、1・2年次それぞれで外部幼稚園での教育実習を行っており非常に充実していると言える。
- 学生が実習園候補を挙げた上で、学校側が協力関係にある園を選定する方法を採っている状況が確認された。選定方法に問題はないと思われるが、学校と実習園の連携体制は必要不可欠であり、事前に、実習園に対して学校の教職指導方針の説明を行うなど、学校として責任を持って実習先の確保・開拓に努めていただきたい。

4. 生徒への教職指導の取組状況及び体制

- 学級担任制を採るなど、専門学校の特長を生かして生徒に対するきめ細やかな指導が行われているように見受けられた。
- 2年次に就職指導の時間を設ける取組の結果として、保育士を含めると100%の就職率となっていることについては評価できる。今後より一層の指導の充実を期待する。
- 1・2年生合同の合宿の実施や教育実習指導を1年次から行うなど、学生の教職への意識付けや免許状取得の意欲向上のための取組として評価できる。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 附属幼稚園でのボランティア活動だけでなく、上級救命技能認定講習会を実施し災害救助ボランティアとして登録するなどの意欲的な取組がなされているように見受けられた。今後は、地元教育委員会・学校に対して積極的に働きかけを行い、連携・協働を通してより一層の充実を努めていただきたい。
- 上級学校との連携について学ぶことも重要であるため、幼稚園・小学校教育のつながりを学ぶ目的で小学校の授業見学を行うなど、今後機会の確保を御検討いただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 音楽の個人レッスン室が非常に充実していることが確認された。
- 今後、生徒が教育に関する最新の情報が入手できる雑誌等の文献の充実を図っていただきたい。

7. 指導大学（お茶の水女子大学）の指導状況

○指導大学のお茶の水女子大学の指導を受けながら教職課程を運営しているとの説明があったが、教員養成機関制度は、当該教員の養成課程を置く大学による指導と承認のもとに運営されることが前提であることから（教育職員免許法施行規則第27条第2項）、教職課程・教員組織の改編時のみの指導にとどまらず、継続的に、指導大学の幼稚園教育の専門家から指導・助言を受ける体制を構築し、教職課程の質向上に努めること。

8. その他特記事項

○特になし。